

ノートルダム学院小学校合唱クラブ 「2017 熊本復興支援 クリスマス・チャリティーコンサート」 及び「2017 熊本復興支援 九州クリスマス・チャリティー演奏旅行（長崎・熊本）」のご報告

合唱クラブ顧問 寺下 徹

合唱クラブは「音楽活動を通して社会に奉仕する」ということを活動方針のひとつとしています。

昨年 12 月、クリスマスを迎える喜びの歌と共に募金活動の収益金を直接熊本にお届けしようという計画のもとに、「熊本復興支援クリスマス・チャリティーコンサート」を 3 回にわたり連続で行いました。

第 1 回、第 2 回は京都市内の高野教会と衣笠教会で行い、第 3 回目のチャリティーコンサートはカトリックの聖地である長崎を訪れました。12 月 23 日（土）にカトリック西町教会において長崎南山小学校コーラス部の皆さんと一緒にいき、その翌日は熊本市のカトリック健軍教会において全員で主日のミサにあずかり、その後のクリスマスコンサート終了後、熊本復興支援義援金の贈呈式を行いました。この義援金には、多くの本校児童、保護者の皆様からの義援金も含まれています。

長崎では日本二十六聖人殉教の地や潜伏信徒発見の歴史的な舞台となった大浦天主堂、創建当時は東洋一と謳われた荘厳な聖堂が原爆によって一瞬にして破壊されたにもかかわらず、その惨状から見事によみがえった浦上天主堂も訪れました。私たち合唱クラブがカトリック学校の聖歌隊であるということで、幸運なことに、各々の場所で特別の許可を頂いてアヴェ・マリアの歌を祈りと共に奉唱することができました。

また、原爆資料館を訪れ、原爆犠牲者の方々への慰霊と平和を願う千羽鶴を贈呈いたしました。この千羽鶴にもたくさんの本校児童、保護者の皆様のご協力を頂き、本当にありがとうございました。

今回の合唱クラブ初の試みであるチャリティー演奏旅行に対する多くの皆様方の温かいご理解とご支援、無事の成功をお祈りいただきましたお陰により、奉仕と巡礼、そして平和への祈りという今回の旅の目的を、神さまに見守られて豊かな実りとともに無事に達成することができましたことを心より感謝申し上げます。

【2017 熊本復興支援クリスマス・チャリティーコンサート】

- ・ 12 月 10 日（日）・・・第 1 回熊本復興支援クリスマス・チャリティーコンサート
於：カトリック高野教会
- ・ 12 月 17 日（日）・・・第 2 回熊本復興支援クリスマス・チャリティーコンサート
於：カトリック衣笠教会
- ・ 12 月 21 日（木）合唱クラブ校内クリスマスコンサート・演奏旅行出発式 於：本校 3 階聖堂
- ・ 12 月 23 日（土）・・・第 3 回熊本復興支援クリスマス・チャリティーコンサート
於：カトリック西町教会（長崎市）長崎南山小学校コーラス部と合同
- ・ 12 月 24 日（日）カトリック健軍教会（熊本市）クリスマスコンサート / 義援金贈呈式

2017. 12. 22 ~ 12. 24 ノートルダム学院小学校合唱クラブ
熊本復興支援 九州クリスマス・チャリティー演奏旅行（長崎・熊本）

★12月22日（金）午前：京都駅出発 ⇒ 長崎駅着
午後：大浦天主堂での祈り

大浦天主堂

京都を早朝に発ち、お昼過ぎに長崎に到着した後、宿泊先のホテルに近い大浦天主堂に向かいました。長い間キリスト教の信仰が禁止されていた日本における潜伏キリスト教徒（隠れキリシタン）たちの存在が、250余年ぶりに確認されるという世界のキリスト教の歴史においても稀有な出来事の歴史的な舞台となった「信徒発見」の聖堂の中で、特別に許可を頂き、祈りを込めてアヴェ・マリアを歌いました。その歌声は「サンタ・マリアのご像はどこ？」とフランス人神父に尋ねて神父を驚かせたあの時の浦上村の信徒たちに届いたでしょうか。



今も静かに長崎の港を見守るマリア様の御像の前で。かつては美しい長崎の港が見下ろせた聖堂前の階段からは、今はもう多くの建物に遮られて海を見ることができません。

★12月23日（土）午前：カトリックの聖地長崎での巡礼と平和の祈り

日本二十六聖人記念館



日本二十六聖人記念館を訪れました。
今から400年以上も昔の旧暦2月という厳冬期に、京都から長崎まで歩かされ、この地で処刑された二十六聖人に関するたくさんの資料を子どもたちも同行した保護者の方々も時間を忘れて食い入るように見つめていました。



静謐（せいひつ）な記念館の中でも特別の許しを頂いてアヴェ・マリアを歌いました。二十六聖人殉教の地に立つ建物の特別な空気の中で歌うアヴェ・マリアは、いつもより深い祈りが込められて建物全体に浸み込むように響き渡り、その余韻がしばらく皆の体を包み込んでいるようでした。



原爆資料館では、長崎に原爆が投下された直後の悲惨な状況を今に残すたくさんの写真や、高熱で溶けたガラスや鉄の塊などの資料に熱心に見入っていました。核兵器の恐ろしさに改めて平和への願いを強くし、資料館の入り口前の広場にノートルダム学院小学校のたくさんの児童が協力して折ってくれた千羽鶴を飾りました。



浦上天主堂でお祈りをするときは、原爆資料館でみた沢山の写真や資料のことが頭をよぎりました。神父様からの特別なお許しを頂き、今、私たちがこうして平和な時代に生きていることに感謝しながら感謝と祈りの心を込めて歌ったアヴェ・マリアは、浦上天主堂の荘厳な聖堂内に透き通った歌声で響き渡り、実に感動的でした。

★12月23日（土）午後：長崎南山小学校コーラス部との交流会と合同チャリティーコンサート
「熊本地震復興支援 京都・長崎・熊本を愛の歌声で結ぶクリスマスチャリティーコンサート」

長崎では、私たちの熊本復興支援コンサートに賛同していただき、カトリック西町教会において合同のチャリティーコンサートを行うことになりました。長崎南山第二学園理事長ポウオムスキ・スタニスワフ神父様、長崎南山第二学園小学校近藤角也校長先生をはじめ、多くの関係者の方々のお力で地元のカトリック小学校である長崎南山小学校コーラス部の皆さんとの交流会の後、合同チャリティーコンサートを行うことができました。そして、コンサートの後には両校の児童と一緒に熊本復興支援の募金活動を行いました。



西町教会でのコンサート。長崎南山小学校コーラス部の美しく力強い歌声に私たちも勇気づけられました。



クリスマスを迎える喜びと熊本の復興を願って祈りを込めて歌いました。



「神さまありがとう♪」と、長崎南山小学校コーラス部の皆さんと心をひとつにして歌いました。



クリスマスの聖歌を歌う両校の児童。初めての共演でしたが息もピッタリでした。



コンサートの後、西町教会の前で熊本復興支援の募金活動を両校の児童が一緒に行いました。



赤ちゃんのかわいい手からも愛の募金が。

※西町教会でのコンサートの写真は、長崎南山小学校のご厚意で同校 HP から転載しています。

★12月24日（日）午前：熊本市カトリック健軍教会でのクリスマスコンサートと義援金贈呈式



熊本のカトリック健軍教会でのクリスマスコンサート。クリスマスを迎える喜びと共に熊本の震災からの復興を願い、長崎南山小学校コーラス部の皆さんの心も一緒に届けようと心を込めて歌いました。子どもたちは皆、音楽が瞬時に人の心と心をつなぐことができるということを改めて体感し、確認した貴重なひと時でした。



京都の高野教会、衣笠教会、そして長崎の西町教会で行った熊本復興支援チャリティーコンサートの収益金¥262,860と昨年9月10日のノートルダムチャリティーコンサートの収益金の一部¥300,000を、健軍教会主任司祭の浦川務神父様にお渡ししました。熊本のみなさんに心から喜んでいただけました。募金活動にご協力頂いたたくさんの皆様方、本当にありがとうございました。

合唱クラブ部員の「九州チャリティー演奏旅行のふり返り」から

長崎の原爆資料館では、原爆の恐ろしさが改めて分かりました。(中略)長崎の教会で「Pie Jesu ピエ イエズ(慈しみ深きイエスよ)」を歌ったとき、原爆資料館のことを思い出しました。たったひとつの過ちで命を奪われたたくさんの人々、今も苦しんでいる多くの人々のために心を込めて歌いました。命の大切さをすごく感じました。(中略)神さま、先生、そして家族のみんなに、このような貴重な体験をさせていただいたことを感謝します。私たちはこの経験を活かし、もっともっと聴く人を勇気づけ、感動を与えられるように歌っていきたいと思います。(6年生女子)

長崎・熊本への演奏旅行をふり返って、私はとても色々なことを学ぶことができました。その中でも、長崎の原爆資料館で見た被爆を経験した人々、平和を失くした時代に生きた人々のことが一番に残りました。長崎南山小学校コーラス部との合同クリスマスコンサートでは、そのことが頭に浮かび上がってきて、今、毎日を平和に暮らせることをとてもありがたく思いました。(中略)今回の演奏旅行では、今まで実感したことのない貴重な体験をすることができてとても良かったです。(5年生女子)

熊本の健軍教会では神父様やたくさんの方々にも温かく迎えていただきとてもうれしかったです。京都と長崎の熊本を応援する気持ちを一緒に届けることができていたらうれしいです。(5年生女子)

この演奏旅行を通して学んだことは大きく分けて三つあります。一つは、二十六聖人記念館や大浦天主堂で学んだ、鎖国時代のキリスト教信者の信仰に対する強い思いです。とくに二十六聖人が京都から長崎まで歩いた距離が、その信仰の強さを示す例だと思いました。その中に子どもが混ざっていたことにとっても驚きました。二つ目は、浦上天主堂や原爆資料館で学んだ平和の大切さです。とくに、原爆投下直後の長崎の写真はあたり一面焼け野原で胸が痛くなりました。三つ目は、長崎南山小学校との交流で学んだ、音楽を通せば人と人との距離が簡単に縮められるということです。また一緒に演奏する機会があればうれしいです。(中略)南山小学校とのチャリティーコンサートを通して、熊本に義援金を贈ることができてよかったです。(後略)(4年生女子)